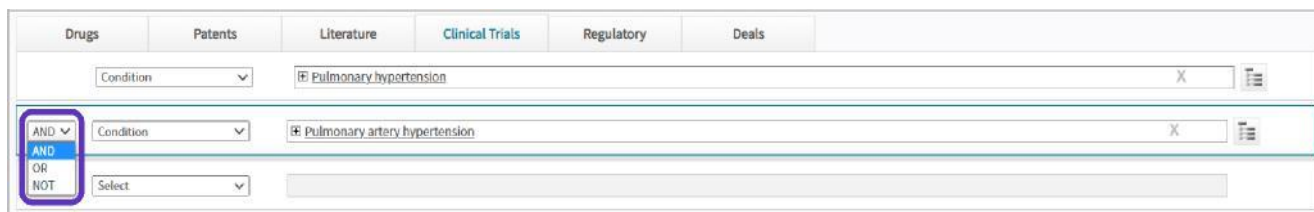


# Cortellis Competitive Intelligence

## 検索演算子、括弧、ワイルドカードの仕様について

Cortellis Competitive Intelligenceでは、各種演算子、括弧、ワイルドカードを使用した検索が可能です。本資料ではこれらの検索時の仕様について解説致します。

### 事例 1：演算子を組み合わせ肺高血圧症（pulmonary hypertension）と肺動脈性肺高血圧症（pulmonary artery hypertension）を対象とする臨床試験を検索する

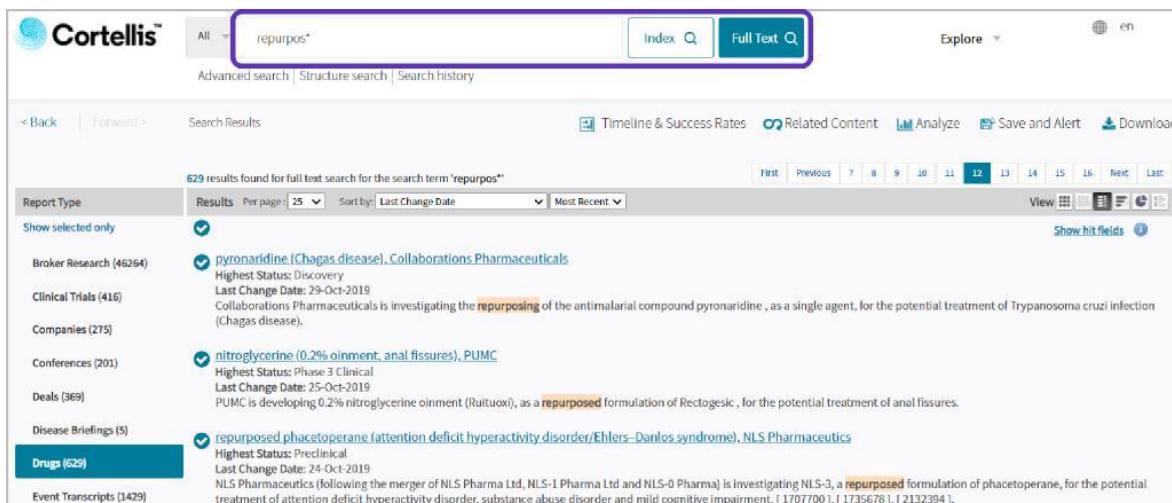


#### 演算子ごとの検索結果

- AND：肺高血圧症と肺動脈性肺高血圧症の両方を対象とする試験
- OR：肺高血圧症と肺動脈性肺高血圧症の両方もしくはどちらか一方を対象とする試験
- NOT：一つ目の検索用語（本事例では肺高血圧症）は対象だが二つ目の用語（肺動脈性肺高血圧症）は対象としない試験

### 事例 2：\*アスタリスクをワイルドカードとして使用し、リパーパスされた開発品を検索する

ワイルドカードとしてのアスタリスクは検索用語の冒頭、末尾に使用可能です。下図の例では、repurpos\*と入力し検索を実行すると、repurposedやrepurposingを検索用語に含み、対象の医薬品集合を抽出します。Advanced Searchの検索ボックスだけでなく、Quick Searchでご利用頂けます。



※注意点 2語以上で前後をダブルクォーテーションで囲みフレーズ検索する場合にはワイルドカードは機能しません。

### 事例3：ワイルドカードと、演算子、括弧を組み合わせ、小児、若年者向けのファーストライン治療薬を検索する

検索ボックスに、“first line treatment” AND (pediatric or you\*)と入力し検索を実行します。

※シノニムのchildrenやadolescentといった単語も検索対象となります。

検索結果一覧画面右上のアイコンにて、List Viewに切り替えると、レコードごとに検索用語がハイライトされて表示されます。

#### ※その他の注意点

- 検索ボックスで複数のフレーズや単語を入力する際に演算子を指定しない場合は自動的にAND演算します。
  - ・ “first line treatment”→ フレーズ検索
  - ・ First line treatment → first AND line AND treatment
- ワイルドカードは複数の単語に設定し同時に検索可能です。
- 括弧を使用する際は[]ではなく()の活用を推奨します。